



若葉が芽吹く季節になりました。今日から、新しい学年、新しい生活が始まります。

新三年生 171 名のみなさん。中学校生活最後の年です。卒業後の自分を思い描き、志をもった生活を送ってください。そして、最高学年として加納中学校をさらに発展させてください。

新二年生 170 名のみなさん。中学校での二年目の生活が始まります。学校生活に慣れることなく、何事にも挑戦してください。そして、中堅学年として加納中学校を支えてください。

さて昨年度は、新型コロナウイルスが私たちの生活を大きく変えました。そして、私たちはそこから多くを学びました。

例えば、私たち人間は、一人で生きることがむずかしいこと。

昨年度の臨時休校中にみなさんは、友だちや先生方と会いたい、みんなと遊びたい、学校でともに活動したい、そんな感情をもったはずです。友だちや先生方とのかかわりが、いかに貴重だったかが分かったはずです。

例えば、私たち人間には、どんな状況でも、責任をもってものごとを進める勁さ（つよさ）があること。

感染症治療に当たっている医師や看護師、お店などの経営者、様々な立場の大人たちは、それぞれの困難な状況の中でも、使命感をもって、黙々と仕事をこなしています。みなさんも、臨時休校中はやるべき勉強をコツコツと積み上げ、学校再開後は勉強とともに、係りや当番の仕事をしっかり果たしました。

例えば、私たち人間には、困難に立ち向かう人々や頑張る仲間を、励ましたり優しくいたわったりする気持ちがあること。

みなさんも、こうした気持ちを自覚し、行動に表し、仲間とともに集団を成長させ、一人一人が自分を成長させました。

昨年度のみなさんの大きな成長を二つお話しします。

一つは、多くのみなさんが自分の気持ちをコントロールできるようになったことです。感情のおもむくままに、言葉を発したり行動したりするのではなく、相手の様子を見ながら、自分の発する言葉や行動を変えることができる人がふえました。

もう一つは、相手の気持ちを考えた微妙な気配りができるようになったことです。例えば、思いやりある行動とは、困っている仲間に手を貸すことに限らず、そっと一声かけることも、あるいはただ見守ることも、思いやりある行動であると多くのみなさんが理解しているはずです。

どちらも子どもにはむずかしく、大人ができることです。みなさんは確実に大人に近づいています。

本年度は例年どおり、今日から新学期がスタートし、若干の変更があるものの、様々な教育活動は従来どおり実施できそうです。まだまだ新型コロナウイルス感染症が収束せず、不安もあることでしょう。また、新しい仲間との新しい生活が心配かもしれません。

けれどもみなさんには、自学、自治を実現した楽しい学校生活の実績があります。自愛を実践し、自分と仲間を大切にしました実績があります。自信をもって、新しい仲間との新しい生活を始めましょう。

最後に、みなさんが安心して学校生活を送れるよう、私たちは次の約束をします。

- 一 すべての生徒を全力で応援します
- 二 仲間に悲しい思いをさせる行為を、全員で指導します
- 三 いつでもどんな相談でも聞きます
- 四 相談されたら、その日のうちに問題解決に立ち上がります

いじめは、許しません。

春風や闘志抱きて丘に立つ

昨年度も紹介した高浜虚子の俳句です。この俳句の心境をみなさんと共有し、令和三年度の加納中学校をつくっていきたいと思います。